

油面コンクリート床用プライマー

アトム #500 油面プライマー

無鉛

アトム#500油面プライマーは、これまで、塗装不可能とされてきた、油で汚れたコンクリート床面の塗装を可能にした画期的なプライマーです。油汚れの床面に使用することによって、フロアトップ各製品が上塗り可能となり、コンクリート床面の美化、防塵、コンクリートの保護等ができます。

特長

- (1) 表面の油とドロを除去するだけで、上塗り塗料の付着が非常に良くなります。



- (2) 油脂分とよくなじみ、またコンクリートとの密着性が抜群です。
(3) 油汚れによるこのようなトラブルを解決します。

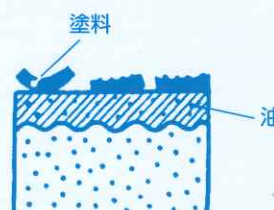
油汚れの床に塗料を塗ろうとすると

未処理の場合



- ハジキがでて塗れません。
- まだらになります。

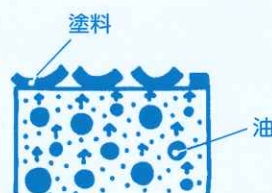
②ムリに塗っても



- 硬化不良・乾燥不良をおこします。
- 付着力がなく、ハガレます。

シンナーで脱脂しても

- 表面の油はとれても、内部にしみ込んだ油が浮いて来て、短期間にハガレます。



用途

- (1) 油で汚れたコンクリート床面塗装の際の下塗り用

内容量・荷姿・塗り面積・可使時間

〔内容量〕 20kgセット〔A材(樹脂)10kg半缶・B材(骨材)10kg石油缶〕
〔標準塗り面積〕 約50m²
〔可使時間〕 約3時間

(一社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03005
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

アトムクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

アトム #500 油面プライマー

施工仕様例

(油面コンクリート工法)

工 程	製 品 名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	施 工 方 法	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	マジソル	—	—	0.60~0.70	・下地に堆積している油泥を除去してください。劣化下地を除去してください。 ・マジソルを床に散布したのち、デッキブラシやポリッシャー等で油泥の残りを洗浄してください。洗浄液を回収後、水モップで拭いて乾燥させてください。	24以上
2 下 塗 り	アトム #500油面プライマー	—	—	0.40	・A材・B材を1:1(重量比)で混合し、電動攪拌機を用いて充分攪拌し、ローラーばけ、はけ等を用いて均一に塗装してください。塗装中は、B材が沈澱しないようローラーばけで攪拌しながら塗装してください。	3~24※1
3 上塗り①	#7000	合成シンナーNo.2	20~30	0.20	・#7000の主剤と硬化剤を14:1(重量比)で混合した後、合成シンナーNo.2で20~30%希釈し、電動攪拌機を用いて充分混合攪拌した後ローラーばけ、はけ等を用いて均一に塗装してください。	2以上
4 上塗り②	#7000	合成シンナーNo.2	20~30	0.20	・上塗り①と同様。	—

(注) ※1 上塗りが一液型塗料の場合: 3時間以上5時間以内 二液型塗料の場合: 3時間以上24時間以内

※既存塗膜が残っている場合は当社にご相談ください。

※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高湿・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地処理は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等をよくお読みの上、十分に注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

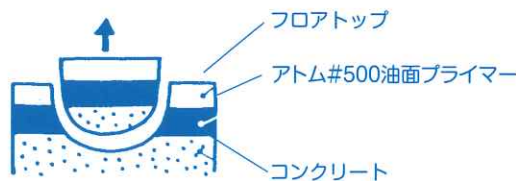
- (1) 下地が濡れている場合には、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- (3) 塗装中は、換気をよくし、火気の取扱いは厳禁してください。
- (4) 計量、混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも十分に注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後にはかりを用いて計量・混合してください。
- (6) 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (7) 静電気対策のため、使用する装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (8) タンク内部の密閉場所や作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。
- (9) 取扱い中は、出来るだけ皮膚に触れない様にし、必要に応じて適切な保護具を着用してください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高いとき、気温の低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 上塗り可能時間 3時間以上(上塗り製品により異なりますので、ご確認ください。)
- (3) マジソルの洗浄廃液は廃油と汚泥の混合物として処理してください。

4. 塗装面別の注意

- (1) 油によりコンクリートの表層が劣化し、もろくなっている場合(特に動植物油)、アトム#500油面プライマーを使用しても、コンクリートごとにはがれる恐れがあります。(イラスト参照)このような場合、もろくなっている表層部分を削り取ってください。削り取ってもまだもろい場合には、コンクリートの打ち直しが必要です。



- (2) 多量の油を含んだコンクリート床面は、塗膜を浸透して、表面に油が出てくることがあります。
- (3) コンクリート面をドライバー等の金属で引っかいても傷がつきにくく水が浸透しにくい強化コンクリートの場合は、油面強化コンクリート用プライマーを使用してください。また、さらに油汚れが付着している面では、下地処理の方法が異なりますので当社にお問い合わせください。
- (4) 上塗り塗料は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表を参照ください。(一部上塗りの出来ない塗料があります)
- (5) コンクリートの仕上り、付着している油の種類、汚れの程度等、下地の状態により、塗膜の性能に影響をおよぼす場合がありますので、あらかじめ試験塗装を行い、下地処理や塗装工程が適切かどうかご確認ください。また動植物油を使用している床面にしましては、必ず事前に当社までご連絡、ご相談ください。

5. もしもの場合

- (1) 皮膚に付着した場合は、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- (2) 眼に入った場合は、多量の水で洗ったあと、また誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- (3) 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。

6. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項、B材の缶に封入しております使用方法およびSDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- (2) 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- (3) 改良等のため、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (4) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (5) 製品本体および当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。